

## 福祉保健部の運営方針 2006 の主な取組み

項 目	主な取組み	
I 健康 福祉 ビジ ョン の 着 実 な 推 進	<b>1 健康福祉ビジョン周知</b>	
	(1) ITの活用による広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPを作成・活用した医師確保、糖尿病などの広報、啓発</li> <li>・研修の受講生や事業企画募集の実施</li> </ul>
	(2) タウンミーティングの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域機関・市町村職員を対象とした意見交換会実施（5地域（5月26日～6月5日））</li> </ul>
	(3) 広報誌、新聞、テレビの活用強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県からのおしらせの活用</li> <li>・名刺による啓発のためのゴム印の作成・活用</li> <li>・会議等での周知</li> </ul>
	(4) キャッチフレーズの作成・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「協働でつくる健康、支える福祉」の決定</li> </ul>
	<b>2 P-D-Sサイクル確立</b>	
	(1) 事業戦略シートの試行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各係1事業試行</li> </ul>
	(2) ワーキングチームの設置による重点施策検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命に関する検討ワーキングチームなどの設置</li> <li>・高齢者虐待実態調査手引書作成作業部会の設置</li> </ul>
	<b>3 きめ細かい進行管理</b>	
	(1) 進行管理方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業戦略シートや指標による進行管理</li> <li>・ビジョン施策評価シートによる進行管理</li> </ul>
(2) 課長会議で報告と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業戦略シートの作成過程での報告評価</li> </ul>	
(3) 部内関係課や庁内関係課との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防の研修企画での他課との連携</li> <li>・魚沼基幹病院検討のため、病院局職員の兼務発令</li> <li>・部局横断の「食の安全・安心戦略会議」の開催</li> </ul>	

項 目		主な取組み
Ⅱ 県民満足 (GS) と職員満足 (ES) の向上	1 県民満足の向上	
	(1) 接遇等の向上	
	・ 窓口対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入口に案内表示を新設</li> <li>・ 電話対応マニュアル作成、迅速・丁寧な電話対応</li> <li>・ 県民からの基本的な電話照会は係員全員が対応可能</li> </ul>
	・ 申請等の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請書類の添付を省略するなど改善</li> <li>・ 申請書類のHPからの取得を可能に（動物関係登録）</li> <li>・ 各種届出のオンライン受付実施</li> </ul>
	(2) 県民とのコミュニケーション充実	
	・ 円卓会議、リスクコミュニケーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護師確保のための円卓会議実施</li> <li>・ 障害福祉に関する円卓会議（障害の表記）</li> <li>・ 食の安全・安心に関する県民意見交換会実施 など</li> </ul>
	・ 県民からの評価手法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種県民アンケート調査の実施</li> <li>・ 介護サービス情報の公表について事業者、調査員等から意見聴取</li> </ul>
	・ IT活用による情報提供充実や県民意見反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種のHPを活用した迅速かつ充実した情報の提供</li> <li>・ 食育推進計画でアンケート、意見交換会、電子会議室、パブコメを実施</li> </ul>
	・ 県庁ロビーを活用した健康展等イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報展示室を活用した「健康福祉ビジョンコーナー」の設置</li> <li>・ 人権キャラバン活動成果を広報展示室に展示</li> </ul>
	(3) 科学的根拠や事実重視	
	・ 審議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社福審・医療審での次年度予算への施策提言等</li> <li>・ 委員への事前説明等を徹底</li> <li>・ 専門家をオブザーバーとして招聘</li> </ul>
	・ 各分野における実態把握システムの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉施設での感染症発症状況把握のシステム化</li> <li>・ 高齢者虐待実態調査など各種実態調査の実施</li> <li>・ 歯科疾患実態調査評価システムの制作</li> </ul>

	項 目	主な取組み
Ⅱ 県民満足 (GS) と職員満足 (ES) の向上	(4)市町村・地域との連携	
	ア 市町村・地域機関の 独創性の支援	
	・市町村への権限移譲	・県から市町村への事務・権限の移譲計画に基づく積極的な移譲（H19.4.1～19項目移譲）
	・本庁職員による講演や 地域機関事業への参画等	・地域機関主催の研修会・会議への講師派遣など参画 ・事業者研修会への講師派遣
	・優良事例に関する情報 提供	・HPや各種会議、説明会等での優良事例などの紹介 ・優良事例集の作成配付と発表会の開催
	イ 情報共有の推進・連 携の強化	
	・会議内容等の情報提供	・関係課への資料回覧や配付の徹底 ・不参加市町村や地域機関へ情報提供の徹底 ・ブロック、全国会議資料の地域機関への随時提供
	・電子会議室・電子掲 示板の活用による意見交 換の充実	・食育推進計画など各種計画策定のため電子会議室の 設置
	・県・市町村・事業者と の推進会議の充実	・地域食育支援ネットワーク会議の開催 ・自殺予防対策会議の開催
	・事業企画への市町村や 地域機関の参画	・食育推進計画策定への市町村参加 ・自殺予防対策会議への地域機関の参画 ・研修会の企画や賞の審査委員として地域機関の参画
	(5)民間活力の支援	
	・優良組織及び個人の知 事表彰	・健康づくり県民大会など各種大会で表彰実施 ・人権尊重啓発会で作品募集と優秀作品の知事表彰

項 目	主な取組み
Ⅱ (6)ユニバーサルデザインの徹底	
県民満足 ・会議資料等の改善	・見やすい字の大きさを、ワンペーパーで作成 ・グラフの活用
(GS) 2 職員満足の向上	
(1)理念、情報、知識共有	
職員満足 ・課長会議の充実	・部運営方針の進行管理の実施 ・回数・時間の充実
(ES) の向上 ・オフサイトミーティングの実施	・地域水道ビジョン推進会議等の方向確認・情報共有
・部長と地域機関職員との意見交換	・健康福祉ビジョンの推進に関する意見交換会の開催 (5地域、5月26日～6月9日)
(2)部内横断的な事業支援	
・きめ細かい進行管理を通じた職員支援	・人権分野で他課との連携強化
(3)若手職員育成・支援	
・職員一口提案の募集、アンケートや部内昼食会の実施	・部長・副部長と部内若手職員との意見交換・昼食会の実施
・所属係以外の職員によるサポート体制の検討	・措置通報時対応の全課応援体制の構築 ・繁忙係・室への職員の応援 ・他係・班における情報の共有
・データ分析手法等の研修	・情報活用研修において分析手法強化 ・厚生統計協会研修会参加

項 目	主な取組み
Ⅱ (4)モチベーションの向上	
県民満足 ・優良事業等の表彰	・職員研修会で優秀な研究発表に対する部長表彰 ・キャッチフレーズ、事業戦略シートで優良事例・事業の部長表彰
(CS) と職員満足 ・職種を超えた登用のあり方の検討	・随時及び人事異動時にて検討中
・職員の専門性をアピールする場の設定	・大学や他県、事業団体等への講師派遣 ・職員研修会での研究発表
(ES) (5)職員の資質向上	
ア 意識改革	
・民間企業主催研修・セミナーへの参加	・トレンドセミナー、ユニットケア研修等への積極的な参加
イ 企画立案・情報提供能力	
・自前研修、最新情報の講演	・各種研修会の開催、講演依頼への積極的な対応 ・看護教員研修受講者による伝達研修
・ベンチマーキング	・長野県・青森県と本県との各種指標データ比較 ・国モデル事業での地域認定に伴う小規模水道等の現地調査検討会
・行政改革の課長担当制	・成果指標・顧客満足、環境(I S O14000)、職員満足、N P Oなどで担当決定
・県議会議員との合同勉強会	・看護議連連絡会議、歯科保健議連での勉強会 ・がん対策の勉強会
・OJTノウハウの標準化などOJT研修の充実	・各担当者ごとに自己の担当業務マニュアル化実施 ・監査資料によるノウハウの標準化
・学会への参加	・日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会などへの参加

項 目		主な取組み
Ⅱ 県民満足 (CS) と職員満足 (ES) の向上	ウ 危機管理能力	
	・人材育成プログラムに基づく研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機管理対応能力研修プログラム策定</li> <li>所属長等を対象とした研修会の実施</li> <li>健康危機管理シミュレーション研修の実施</li> </ul>
	・リスクマネジメントの全職員への徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践自治体の危機管理を職員に配付</li> <li>個人情報取扱の管理体制の見直し</li> <li>高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル作成</li> </ul>
	エ 社会貢献	
	・ISO14000の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピー両面、片面コピー済み用紙の再利用、分別、節電の徹底</li> <li>共有ドライブ活用やCD-R配付</li> </ul>
	・ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務時間外におけるトイレ介助の必要な来庁者に対する介助の実施</li> <li>自発的な参加の促進</li> </ul>
	(6)健康観光先進県宣言	
	・観光・産業担当との連携に保健師・栄養士等が積極的に関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉専門職員研修における健康ビジネス連峰構想の説明</li> <li>ウォーキングロード認定基準作成作業への県観光協会参画</li> </ul>
	(7)大胆な事業見直し、業務改善の推進	
	・不要事業リストの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初予算編成での事業再構築の中で実施</li> </ul>
・企画立案時の余裕ある時間配分と方向性指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間配分に配慮、各課指示に当たり部方針の明示</li> <li>年間業務実施予定表による繁忙調整</li> </ul>	